

アワビ人工種苗貝と天然貝の貝殻形態の差 (短報)

藤田恒雄

Morphological Difference of the Shell between Seed and Wild Abalones (Short Paper)

Tsuneo FUJITA

アワビ天然貝は、人工種苗貝と較べて螺頂部が高いといわれており、市場調査において天然貝と人工種苗貝とを見分ける 1 つの特徴となっている。ここでは、実際に貝殻を測定し天然貝と人工種苗貝の貝殻の形状について若干のデータを得たので報告する。

いわき市下神白地先の海岸に 2002 年 11 月から 2003 年 4 月までの間に打ち上がった貝殻約 1,300 個体を回収し、殻長、殻高、殻幅をノギスで測定した。その結果を天然貝、人工種苗貝に分けて整理を行った。

アワビ貝殻の殻長と殻高の関係についてみると、個体差が大きく、殻長に対する殻高の比だけでは天然貝と人工種苗貝とを区別することは出来ないことが分かった(図 1)。しかし、殻長に対する殻高の関係の近似直線を比較すると、どの殻長についても天然貝が放流種苗貝より平均約 2mm 殻高が高いことが分かった。これは、稚貝時の何らかの環境の違いが貝殻の形態の違いに現れており、その後成長してもその差をそのまま受け継いでいるものと考えられた。

天然貝と人工種苗貝の殻長に対する殻高の値については、個体差が大きく、上述のとおり、人工種苗貝と天然貝とを区別するキーポイントにはならないが、螺頂部の形態について観察すると、天然貝ではせり上がっているのに対し、人工種苗貝では比較的扁平であり、肉眼的には差が認められた。このため、螺頂部の形状は、市場調査において人工種苗貝と天然貝を区別する 1 つのキーポイントに成りうると考えられた(写真参照)。

殻長に対する殻幅については、天然貝と人工種苗貝との間で差はみられなかった(図 2)。

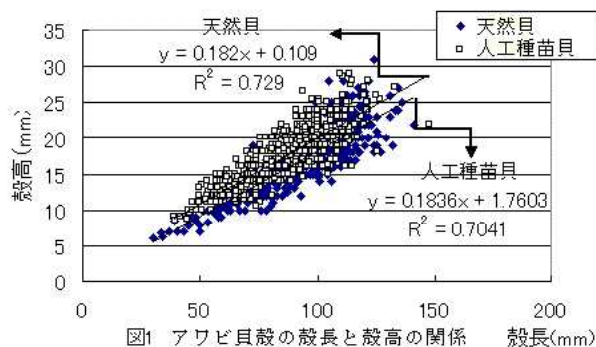


図1 アワビ貝殻の殻長と殻高の関係

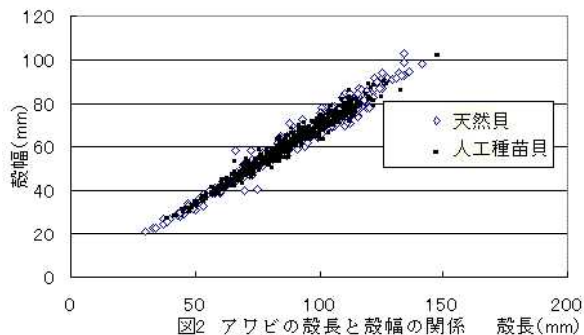


図2 アワビの殻長と殻幅の関係



写真 天然貝と人工種苗貝の螺頂部の違い（手前3つが天然貝、奥3つが人工種苗貝、矢印部分が螺頂部）